

様式第22号（第5条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市飛島5923-1
協議会名	飛島自治振興会
協議会長名	会長 山本吉太郎

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）実績報告書

令和 5 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 283 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 交付金決算額 1,647,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	交付金決算額	
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③
1,647,000	1,647,000	0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	1
活動名	島内交通
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	公共交通機関のない飛島において、島民の移動手段を確保することは生活上最も重要な役割である。島内の移動や荷物の運搬などは、島民に限らず帰省者にも必要とされている。安全・安心が確保された島内交通事業により、島民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。
【効果】	島民の交通手段となることで、買い物や通院などに安心して通うことができる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年日)

3 実施場所

飛島島内道路

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 7 人 (ア+イ)
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 3 人 (ア)
 その他関係人数 (当日参加者等)： 4 人 (イ)
 ○団体： (団体名) 飛島自治振興会, (団体名) 集落支援員
 (団体名), (団体名)

5 実施内容

1日6回の定期船の寄港に合わせて、島民の搬送、荷物の運搬にあたる。担当者は、定期船の寄港のたびに、前後30分程度島内交通業務のため島内に待機する。

6 決算額

1,155,800 円 (うち交付金分 1,150,000 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	年間365日、1日6回の定期線寄港にともなう島民の送迎や荷物の運搬を問題なく実施できた。島内交通事業が円滑にできるように、集落支援員と担当者との調整を行えた。
【課題】	定期船の寄港のみならず、島内の移動手段としてのニーズも高まってきている。拘束時間があるために外出できないなど、担当者の負担が大きい。また、予算内で事業を運営するための工夫と担当者の確保が課題である。

様式第25号（第5条関係）

令和5年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	1
活動名	島内交通

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 1,150,000	1,150,000	0	当該年度分
その他収入	5,800	5,800	0	
飛島自治振興会	5,800	5,800	0	
			0	
			0	
計	1,155,800	1,155,800	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	1,126,000	1,129,000	△ 3,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	24,000	26,800	△ 2,800	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,150,000	1,155,800	△ 5,800	決算額のうち市交付金分 ② 1,150,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分	活動交付金
活動名	島内交通
費目	報償費
No.	1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	30	従事者1		12,000	12,000
2	5	4	30	従事者2		12,000	24,000
3	5	4	30	従事者3		56,000	80,000
4	5	4	30	(一社) 飛島学園		10,000	90,000
5	5	5	31	従事者1		12,000	102,000
6	5	5	31	従事者2		12,000	114,000
7	5	5	31	従事者3		38,000	152,000
8	5	5	31	(一社) 飛島学園		31,000	183,000
9	5	6	30	従事者1		13,000	196,000
10	5	6	30	従事者2		13,000	209,000
11	5	6	30	従事者3		30,000	239,000
12	5	6	30	(一社) 飛島学園		34,000	273,000
13	5	7	31	従事者1		13,000	286,000
14	5	7	31	従事者2		13,000	299,000
15	5	7	31	従事者3		31,000	330,000
16	5	7	31	(一社) 飛島学園		36,000	366,000
17	5	8	31	従事者1		35,000	401,000
18	5	8	31	従事者3		45,000	446,000
19	5	8	31	(一社) 飛島学園		16,000	462,000
20	5	9	30	従事者1		22,000	484,000
21	5	9	30	従事者3		46,000	530,000
22	5	9	30	(一社) 飛島学園		26,000	556,000
23	5	10	31	従事者1		22,000	578,000
24	5	10	31	従事者3		31,000	609,000
25	5	10	31	(一社) 飛島学園		33,000	642,000
26	5	11	30	従事者1		24,000	666,000
27	5	11	30	従事者3		31,000	697,000
28	5	11	30	(一社) 飛島学園		37,000	734,000
29	5	12	31	従事者1		13,000	747,000
30	5	12	31	従事者3		41,000	788,000
31	5	12	31	(一社) 飛島学園		37,000	825,000
32	6	1	31	従事者1		30,000	855,000
33	6	1	31	従事者3		16,000	871,000
34	6	1	31	(一社) 飛島学園		47,000	918,000
35	6	2	29	従事者1		24,000	942,000
36	6	2	29	従事者3		11,000	953,000
37	6	2	29	(一社) 飛島学園		52,000	1,005,000
38	6	3	31	従事者1		29,000	1,034,000
39	6	3	31	従事者3		3,000	1,037,000
40	6	3	31	(一社) 飛島学園		61,000	1,098,000
No. 1 小 計						1,098,000	

出 納 簿

〔事務様式2〕

交付金区分 活動交付金
 活動名 島内交通
 費目 報償費
 No. 2

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
41	6	3	31	従事者1	加算手当	15,500	1,113,500
42	6	3	31	(一社) 飛島学園	加算手当	15,500	1,129,000
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
No.2 小 計						31,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 島内交通

費目	需用費	修繕料
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロッパダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	12	4	ホリデー	バッテリー	19,800	19,800
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						19,800	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 島内交通

費目 需用費 燃料費

No. 1 ↑ドロッパダウンリスト
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	26	金庄丸	ガソリン代	7,000	7,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						7,000	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	飛島自治振興会
活動名	島内交通

活動目的	公共交通機関のない飛島において、島民の移動手段を確保することは生活上最も重要な役割である。島内の移動や荷物の運搬などは、島民に限らず帰省者にも必要とされている。安全・安心が確保された島内交通事業により、島民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。
実施内容	1日6回の定期船の寄港に合わせて、島民の搬送、荷物の運搬にあたる。 担当者は、定期船の寄港のたびに、前後30分程度島内交通業務のため島内に待機する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとらえて、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
年間365日、1日6回の定期線寄港にともなう島民の送迎や荷物の運搬を問題なく実施できた。島内交通事業が円滑にできるように、集落支援員と担当者との調整を行えた。	定期船の寄港のみならず、島内の移動手段としてのニーズも高まってきている。拘束時間があるために外出できないなど、担当者の負担が大きい。また、予算内で事業を運営するための工夫と担当者の確保が課題である。

今後の活動の方向性・改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を支援していく準備が必要である。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	2
活動名	デイサービス
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	高齢者の定期的な集いの場を提供し、ひきこもりの防止を行うとともに、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリを行う。
【効果】	高齢者のひきこもりを防止し、身体機能の維持・向上等の介護予防の促進を図り、健康を維持することが期待できる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年日)

3 実施場所

旧飛島幼稚園

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 16 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 6 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 10 人（イ）
 ○団体： (団体名) 飛島婦人会, (団体名) 集落支援員
 (団体名), (団体名)

5 実施内容

毎週水曜日の午前中に集まり（車による送迎）バイタルチェックや身体機能の維持・向上を目的としたリハビリ運動を行い、島民同士の交流を促進するサロンを開催する。

6 決算額

300,000 円（うち交付金分 300,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	参加者の健康状況を把握でき、情報交換の場となっている。
【課題】	担当者、参加者の高齢化。参加者の固定化が課題である。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	2
活動名	デイサービス

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 300,000	300,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
	0	0	0	
			0	
			0	
計	300,000	300,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	300,000	300,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	300,000	300,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 300,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 デイサービス

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	10	30	従事者1		24,000	24,000
2	5	10	30	従事者2		24,000	48,000
3	5	10	30	従事者3		6,000	54,000
4	5	10	30	従事者4		30,000	84,000
5	5	10	30	従事者5		46,000	130,000
6	5	10	30	従事者6		16,000	146,000
7	6	3	30	従事者1		26,000	172,000
8	6	3	30	従事者2		18,000	190,000
9	6	3	30	従事者3		20,000	210,000
10	6	3	30	従事者4		36,000	246,000
11	6	3	30	従事者5		42,000	288,000
12	6	3	30	従事者6		8,000	296,000
13	6	3	30	従事者7		4,000	300,000
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						300,000	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 2

協議会名	飛島自治振興会
活動名	デイサービス

活動目的	高齢者の定期的な集いの場を提供し、ひきこもりの防止を行うとともに、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリを行う。
実施内容	毎週水曜日の午前中に集まり（車による送迎）バイタルチェックや身体機能の維持・向上を目的としたリハビリ運動を行い、島民同士の交流を促進するサロンを開催する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
参加者の健康状況を把握でき、情報交換の場となっている。	担当者、参加者の高齢化。参加者の固定化が課題である。

今後の活動の方向性・改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人として事業を支援していく準備が必要である。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	3
活動名	ごんせい飛島観光事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	飛島には約600本のやぶ椿が自生していると言われており、その椿にかかわる島の文化や景観、椿関連商品が笠岡ブランドとして認定されている。椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やすことを目的とする。
【効果】	椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やし、持続可能な島民との交流や関係を深めることが期待できる。また、伝統的な椿事業を守り続けることに繋がる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年日)

3 実施場所

飛島全域、飛島つばき研究所、まちづくり協議会事務所

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 24 人 (ア+イ)
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 4 人 (ア)
 その他関係人数 (当日参加者等)： 20 人 (イ)
 ○団体： (団体名) 飛島自治振興会, (団体名) 集落支援員
 (団体名), (団体名)

5 実施内容

椿油の生産・販売
 島内の環境整備

6 決算額

152,500 円 (うち交付金分 120,000 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	椿事業に従事できる人員が少なくなるなかで、安定的な販売システムが構築できた。
【課題】	収穫量の減少、作業人員の確保が課題である。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	3
活動名	ごんせい飛島観光事業

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 120,000	120,000	0	当該年度分
その他収入	0	32,500	△ 32,500	
飛島自治振興会	0	32,500	△ 32,500	
			0	
			0	
計	120,000	152,500	△ 32,500	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	60,000	63,000	△ 3,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	60,000	89,500	△ 29,500	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	120,000	152,500	△ 32,500	決算額のうち市交付金分 ② 120,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 ごんせい飛島観光事業

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	11	参加者	草刈り作業手当	33,000	33,000
2	5	6	17	参加者	草刈り作業手当	30,000	63,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						63,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 ごんせい飛島観光事業

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	8	13	無印良品	ボトル容器300ヶ	89,500	89,500
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						89,500	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 3

協議会名	飛島自治振興会
活動名	ごんせい飛島観光事業

活動目的	飛島には約600本のやぶ椿が自生していると言われており、その椿にかかわる島の文化や景観、椿関連商品が笠岡ブランドとして認定されている。椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やすことを目的とする。
実施内容	椿油の生産・販売 島内の環境整備

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとらえて、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
椿事業に従事できる人員が少なくなるなかで、安定的な販売システムが構築できた。	収穫量の減少、作業人員の確保が課題である。

今後の活動の方向性・改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を継続していく準備が必要である。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	4
活動名	鳥獣害対策
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	イノシシ被害を抑えるため、猟友会に協力してくくり罠の見回り・点検を実施する。
【効果】	くくり罠が外れていないが管理することで、捕獲率が向上する。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

飛島全域

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 7 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 3 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 4 人（イ）
 ○団体： （団体名） 飛島自治振興会 ， （団体名） 集落支援員
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

毎日、午前中に島内のくくり罠の点検を実施する。
 イノシシ捕獲時は猟友会に連絡し、捕獲サポート、処分に協力する。

6 決算額

81,000 円（うち交付金分 77,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	イノシシの駆除に貢献できた。
【課題】	毎日の見回りの継続が困難であった。捕獲できたイノシシを発見できずに腐敗させてしまったケースがあった。くくり罠で捕獲できたとしても、暴れるイノシシが罠から外れる可能性もあり危険が伴う事業である。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	4
活動名	鳥獣害対策

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 77,000	77,000	0	当該年度分
その他収入	0	4,000	△ 4,000	
自主財源	0	4,000	△ 4,000	
			0	
			0	
計	77,000	81,000	△ 4,000	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	77,000	81,000	△ 4,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	77,000	81,000	△ 4,000	決算額のうち市交付金分 ② 77,000

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 鳥獣害対策

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	30	従事者1	200円×180日	36,000	36,000
2	6	3	30	従事者2	200円×180日	36,000	72,000
3	6	3	30	従事者3	解体処分費3000円×3回	9,000	81,000
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						81,000	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 4

協議会名	飛島自治振興会
活動名	鳥獣害対策

活動目的	イノシシ被害を抑えるため、猟友会に協力してくくり罠の見回り・点検を実施する。
実施内容	毎日、午前中に島内のくくり罠の点検を実施する。 イノシシ捕獲時は猟友会に連絡し、捕獲サポート、処分に協力する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 イノシシの駆除に貢献できた。	現状と課題 毎日の見回りの継続が困難であった。捕獲できたイノシシを発見できずに腐敗させてしまったケースがあった。 くくり罠で捕獲できたとしても、暴れるイノシシが罠から外れる可能性もあり危険が伴う事業である。
-------------------------	---

今後の活動の方向性・改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、集落支援員や一般社団法人飛島学園として事業を支援していく準備が必要である。